

～令和4年度 看護の日記念行事を開催しました～



「5.12は看護の日」です。看護師をめざす私たちに今できることは何かを考え、学生自治会が主体となって5月6日（金）に記念行事を行いました。

午前中は四国こどもとおとなの医療センターに来られる患者さんに少しでも気持ちよく受診していただけるよう、病院玄関周辺の美化活動を行いました。また、校内にて香川県赤十字血液センターから献血車2台来ていただき献血を行いました。53名が申し込み40名が献血に協力できました。

美化（草抜き）活動中



献血で貢献できました



午後からは社会福祉法人ラーフ理事長の毛利公一先生をお迎えして、「夢をかなえる挑壁思考～前向きに生きると世界は広がる～」をテーマに特別講演を聴講しました。講演は、新型コロナウイルス感染症防止策を講じて、対面とオンラインを組み合わせて行いました。毛利先生には、「ピンチの 때가チャンス」であり、まずやってみることが大切だと教えていただきました。「看護師になるという夢に向かって本気で取り組んでいきたい」と決意を新たにしました。

今後も機会をとらえて看護として地域に貢献できることを考え、看護師になるという夢にむかってがんばっていきたいと思います。



毛利先生と学生自治会役員